

第 2 回 伊丹市公共下水道事業における ウォーターPPP に関するサウンディング型市場調査の結果について

1. アンケート対象者

第 1 回アンケート調査で本市の WPPP に参入意欲があると回答をいただいた事業者、及び第 1 回説明会にご参加いただいた事業者、及び追加で参加申し込みがあった事業者を対象としている。

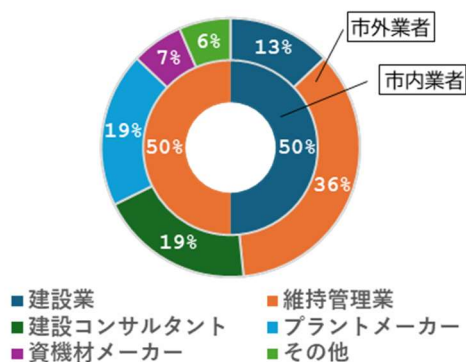
2. 調査期間

令和 7 年 1 月 30 日から令和 7 年 2 月 14 日まで

3. 回答者数と業者種別

回答者 : 35 者

回答者数と業者種別



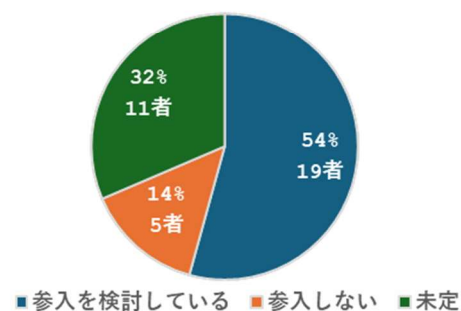
業者種別/市内市外	市内業者	市外業者	計
建設業	2	4	6
維持管理業	2	11	13
建設コンサルタント		6	6
プラントメーカー		6	6
資機材メーカー		2	2
その他		2	2
計	4	31	35

参入意欲

4. 参入意欲について

4-1.伊丹市の WPPP への参入意欲について

参入検討者 : 19 者(未定込み:30 者)



参入意欲/業者種別	建設業	維持管理業	建設コンサルタント	プラントメーカー	資機材メーカー	その他	計
参入を検討している	4	11	3		1		19
参入しない				4		1	5
未定	2	2	3	2	1	1	11
計	6	13	6	6	2	2	35

4-2. 「参入しない」「未定」と回答していただいた場合、どの理由に該当するか(複数回答)

該当理由/業者種別	建設業	維持管理業	建設コンサルタント	プラントメーカー	資機材メーカー	その他	計
事業量(事業費)	2						2
住民対応業務			1				1
関連する業務がない				5		1	6
関連する業務が少ない	1			1			2
伊丹市にゆかりがない			1				1
他市 WPPP に参加							
その他 (支援型のため等)		2	1		1	1	5
計							17

5. 担当を想定している業務について

5-1. 伊丹市の WPPP へ参入する場合、貴社が担当する業務について(複数回答)

担当業務/業者種別	建設業	維持管理業	建設コンサルタント	プラントメーカー	資機材メーカー	その他	計
統括管理業務	4	10	1				15
計画関連業務	2	9	5				16
改築設計業務	1	7	5				13
TV カメラ・潜行目視	2	12	1		1		16
点検・巡視	1	12					13
清掃業務	1	10					11
管路施設修繕工事(計画)	2	9	2				13
住民対応業務	1	12					13
計	14	81	14		1		110

5-2. 伊丹市の事業スキーム素案に関する意見(抜粋)

- ・維持管理データの収集・整理・分析業務の追加を提案する。
- ・計画的維持管理業務(点検・調査・清掃)の業務量の確保を要望する。
- ・住民対応について、一部民間で対応が困難な案件も想定されるため、全面的に委託することは難しい。
- ・住民対応業務について、要望の内容とその件数が判らず対応体制の判断が難しい。
- ・住民対応業務について、24 時間 365 日稼働している処理場等の運営管理が含まれない場合、夜間・休日対応できる体制を整えることはコスト等の観点からメリットがありません。
- ・住民対応業務について、住民対応の質を落とさないために24時間 365 日自社で対応ができ、かつ、既に経験値のある業者を選択して頂ける事業形態を希望する。

6. 参入体制等の見込みについて

6-1. 伊丹市の WPPP の公募へ参加する場合、貴社の参入体制の見込みについて(JV に関しては望ましい方式も選択)(複数回答)

参入体制/業者種別	建設業	維持管理業	建設コンサルタント	プラントメーカー	資機材メーカー	その他	計
単独	1						1
甲型 JV		1					1
乙型 JV	2	1	2	2			7
JV (どちらでも可)	1	3	3		1		8
特定目的会社 (SPC)	2		1				3
その他 (検討中等)	2	8	1		1	1	13
計	8	13	7	2	2	1	33

6-2. 伊丹市の WPPP の公募へ参加する場合、複数の企業等で構成される組織 (SPC、JV 等) を構成するために必要となる準備期間について

準備期間/業者種別	建設業	維持管理業	建設コンサルタント	プラントメーカー	資機材メーカー	その他	計
3 カ月	1	1					2
6 カ月	2	1	4	1		1	9
1 年	2	2	2		1		7
その他 (不要等)		9		1	1		11
計	5	13	6	2	2	1	29

6-3. 伊丹市の WPPP の公募へ参加する場合、技術提案書や入札金額などを作成するために必要と思われる期間について

準備期間/業者種別	建設業	維持管理業	建設コンサルタント	プラントメーカー	資機材メーカー	その他	計
3 カ月		1			1		2
6 カ月	3	1	5			1	10
1 年	1	3					4
その他 (不要等)	1	8	1	2			12
計	5	13	6	2	1	1	28

7. リスク分担に関する意見(抜粋)

- ・物価変動や金利変動のリスクに対して、各業務で変動を見込んだ金額の提示を求めるのは官民双方において困難である。
- ・官民双方でコントロールできないリスクは、基本的には官側の負担、若しくは協議事項としていただきたい。

- ・維持管理・修繕費用増大リスクとして、受託側に対し増大部分の負担が記載されているが、現状(管路の健全度等)が把握されていない状況下では受託者に負担させる事は困難である。
- ・点検調査リスクについて、過年度の調査点検実施分は委託者負担で受託者実施分は受託者負担とするのは、WPPP が長期間に渡るため受託者にリスクが偏り過ぎる。
- ・道路陥没リスクについて、定期点検で発見できない事例もあるため、内容を見直す必要がある
- ・道路陥没リスクとして、調査未実施の箇所での道路陥没に対し、追加費用の負担についてより詳細な説明とリスク分担が必要である。
- ・両社の負担としている部分について、備考欄の記載も含めて非常に曖昧な記述であり、民間側としては事業参画に踏み切れない要因となる。
- ・民間側が過度にリスク費を計上しないよう、事業を進める中で流動的に契約内容を見直せる機会を設けて頂きたい。

8. まとめ

昨年の説明会でご説明させていただいた事業スキーム素案について、一定の参入意向が確認できる結果となっておりますので、この事業スキーム素案を基本とし、令和 9 年度の「伊丹市公共下水道事業におけるウォーターPPP」の実施に向け、本アンケートで頂いた意見等を参考に検討を進めてまいります。

素案のリスク分担では受託者のリスクが高いといった意見が多く見受けられた結果となりました。リスク分担を明確に規定することは官民双方の安定的な事業運営に不可欠であり、また事業者様の参画に大きくかわる部分であると考えておりますので、本アンケートで頂いた意見等を参考に検討を進めてまいります。